

# 2019年9月期 第3四半期決算説明



## 【免責事項】

本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません。これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります。

株式会社ユーグレナ

2019年8月

# 2019年9月期第3四半期決算ハイライト

## ◎ 2019年9月期第3四半期決算

- **連結経常利益※1、連結EBITDA※2は共に黒字を維持**（3Q累計実績）
- 対前四半期比で売上高は漸増

※1: バイオ燃料製造実証プラント引き渡しに伴う一括費用計上額を除いた数値  
※2: 営業利益+減価償却費+のれん償却額

## ◎ ヘルスケア事業の進捗および展望

- 広告宣伝投資の漸増とM&Aにより、**定期購入者数は3Qでプラスに反転。**
- 直販・流通の両チャネルを対象とした**横断的なクロスマーケティング施策**を4Q以降に実施（地域限定テレビCM、AskDoctorsの認証取得など）

## ◎ エネルギー・環境事業の進捗および展望

- **伊藤忠商事と覚書を締結**、バイオ燃料用および飼料用ミドリムシの海外培養実証を実施予定
- 6月の**G20サミット**および関連会合で日本を代表する環境対策事業として出展、**「ユーグレナバイオ燃料※3」を入れた乗用車の公道走行は世界初**
- バイオディーゼル燃料の供給開始に向け、**想定ユーザーは順調に拡大中**

※3 ミドリムシを原料の一部に使用した、現状のディーゼルエンジンに対して100%使用することが可能な次世代バイオディーゼル燃料

# 2019年9月期 第3四半期決算概要

# 2019年9月期第3四半期決算概要

実証プラント一括費用計上額※を除く **連結経常利益は黒字を維持**

(百万円)	2018/9期 3Q累計実績	2019/9期3Q累計実績		2019/9期業績予想	
		一括費用計上含む	一括費用計上除く	一括費用計上含む	一括費用計上除く
売上高	11,136	10,445	10,445	16,500	16,500
営業利益	△ 1,516	△ 6,707	△ 337	△ 6,793	△ 420
経常利益	△ 1,260	△ 6,358	12	△ 6,373	0
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△ 1,365	△ 6,537	△ 167	△ 6,673	△ 300

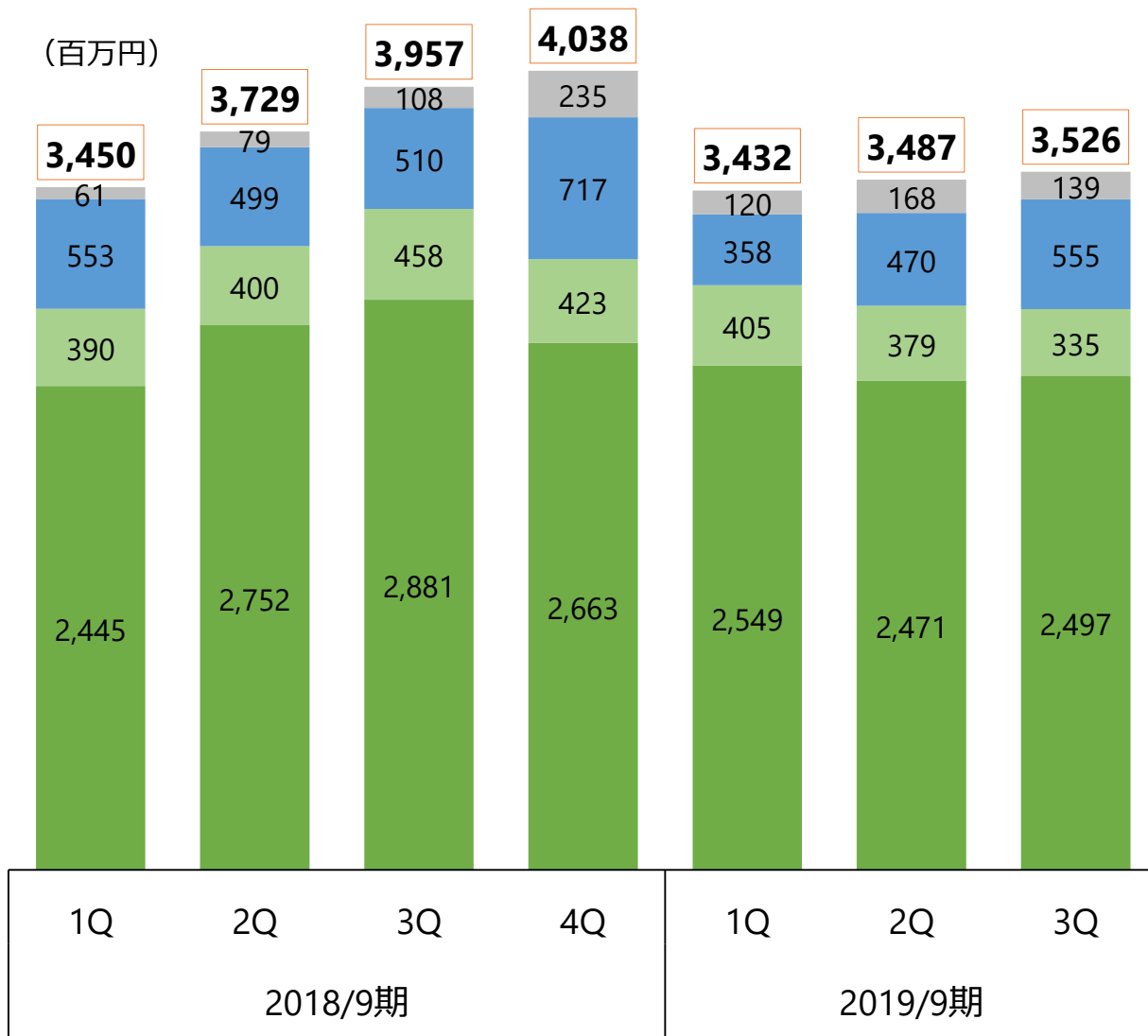
※建設関連費用: 6,370百万円

注: 上記は決算短信に合わせ百万円未満を切捨てて記載しております。以降のページのチャート、テーブルの記載値は百万円未満を四捨五入しているため、一部数値が一致しない場合があります。

# 経営指標—収支構造推移

■ 直販 ■ 流通 ■ OEM・原料・海外 ■ その他

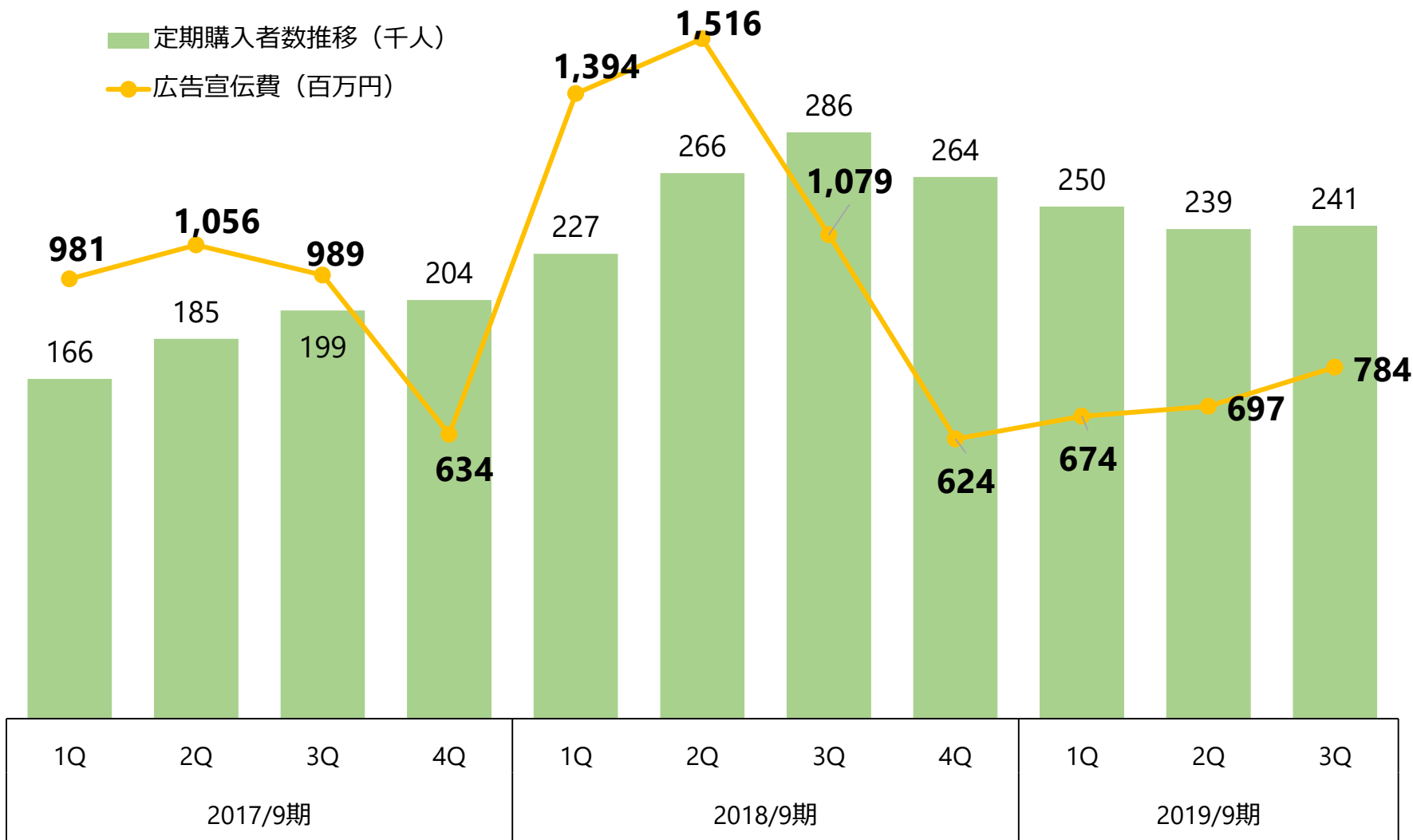
(百万円)



直販および  
OEMの  
売上高が  
2Q比で拡大

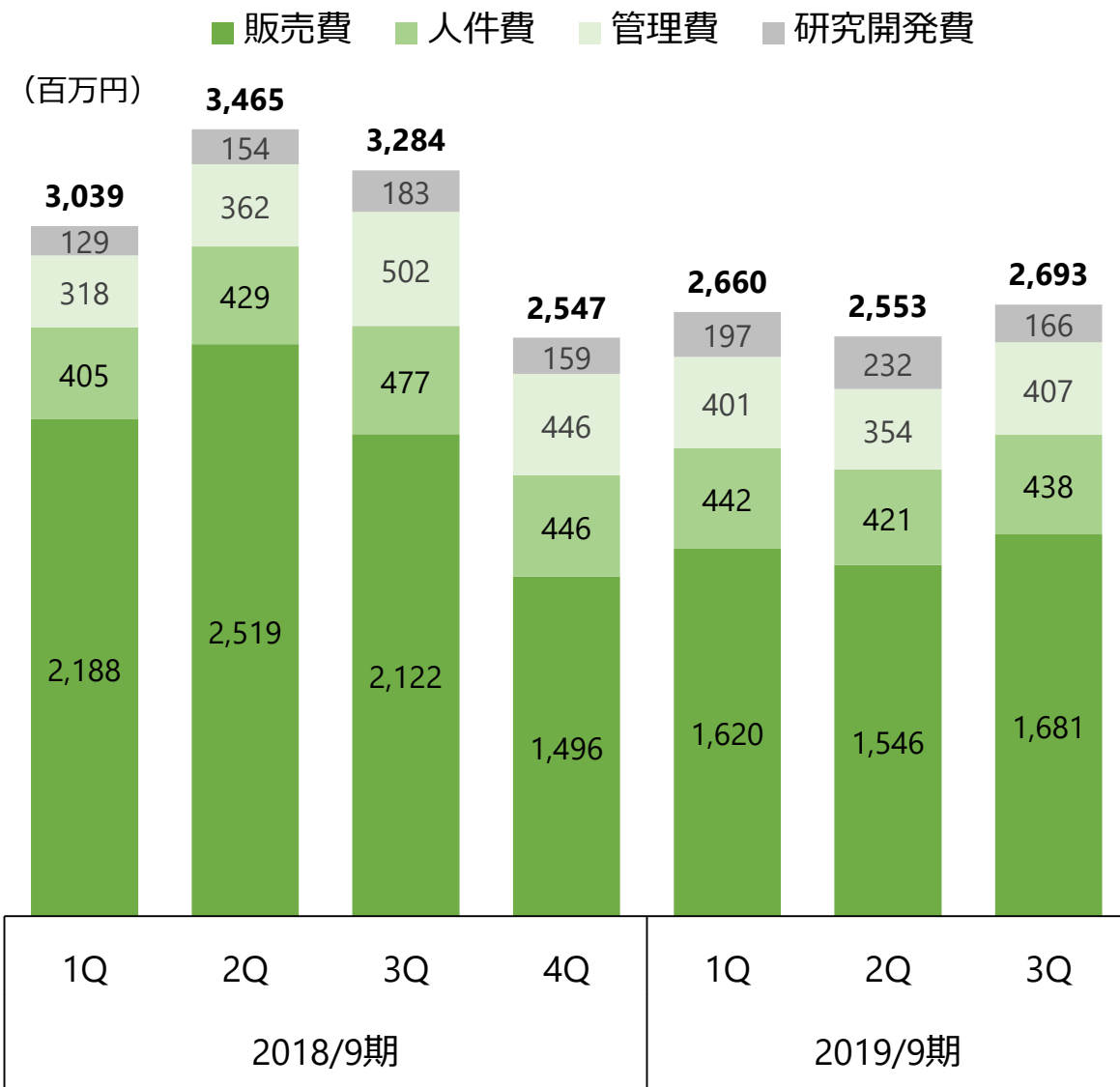
# 直販—定期購入者数推移

## 広告宣伝投資の漸増とMEJ社の参画<sup>※1</sup>により、定期購入者数は3Qでプラスに反転



※1 3QよりMEJ社の定期購入者数6千人を加算

# 経営指標—収支構造推移



広告宣伝費や  
荷造運賃費の  
増加により  
販売費が増加

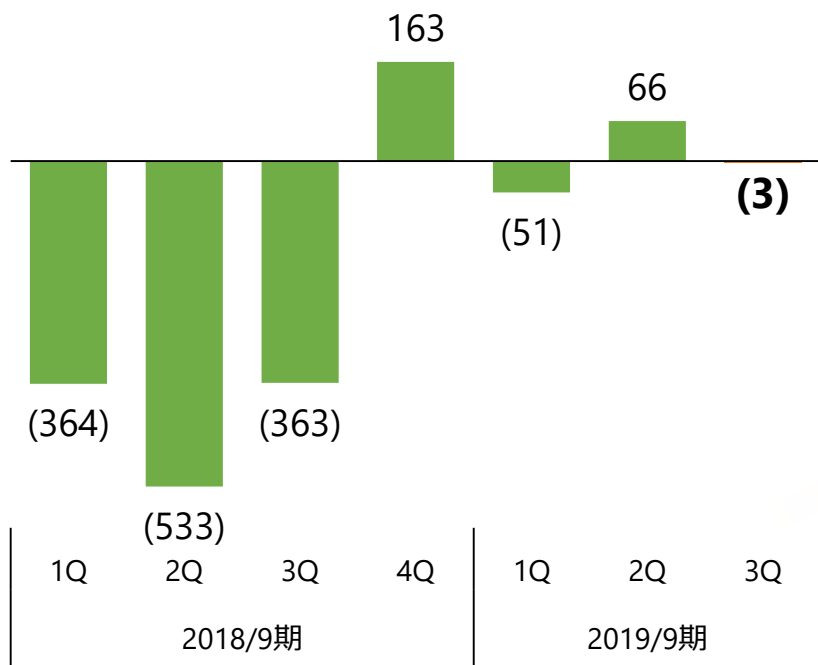
注：販売費及び一般管理費と研究開発費はバイオ燃料製造実証プラント引き渡しに伴う一括費用計上額を除いた数値

# 経営指標—連結経常損益※1、連結EBITDA※2

連結経常損益はマイナスとなるも赤字幅は限定的、  
連結EBITDAは黒字を維持

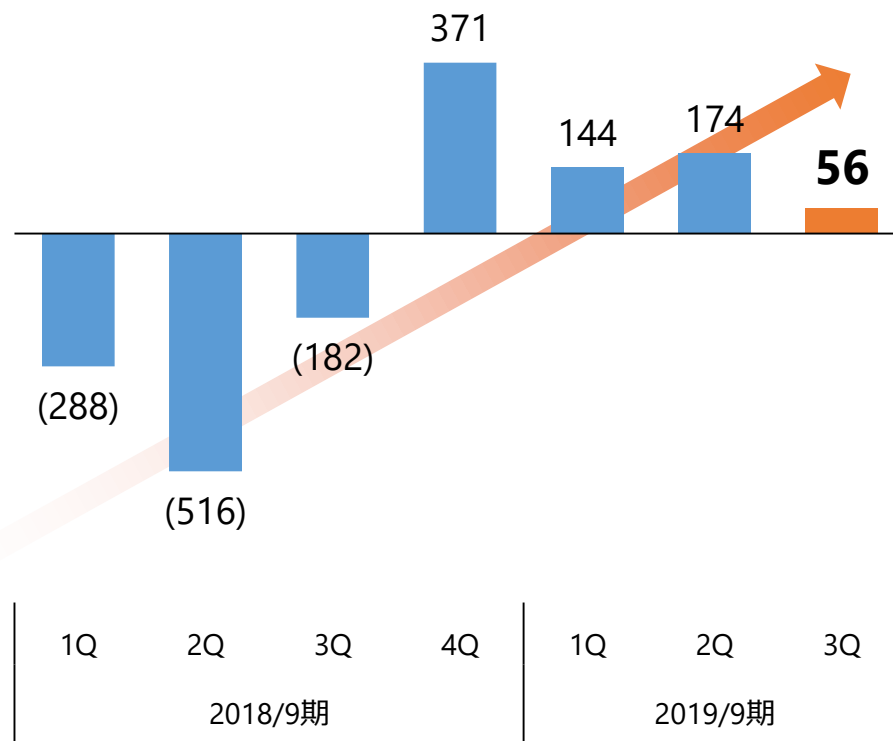
## 連結経常損益

(百万円)



## 連結EBITDA

(百万円)



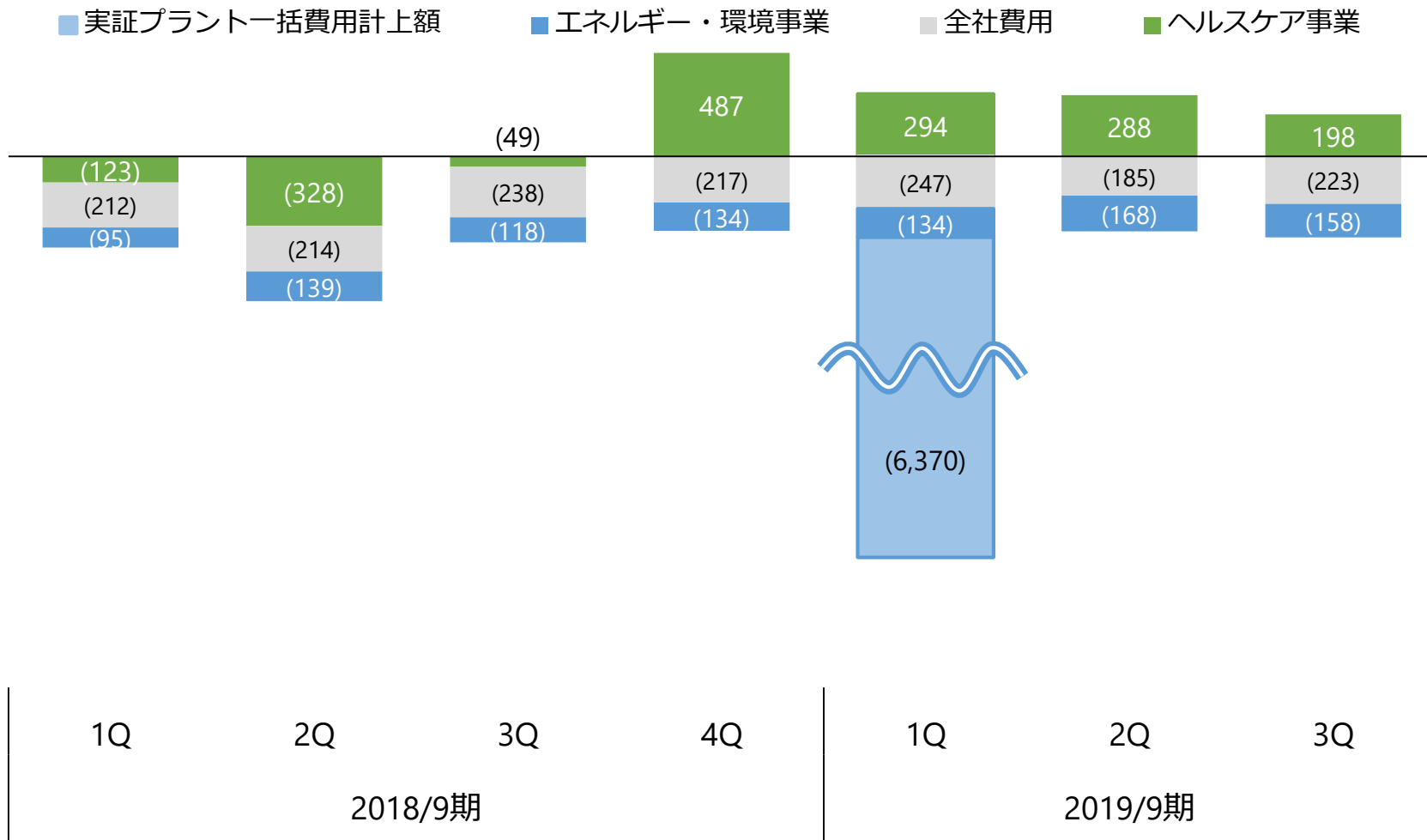
※1 バイオ燃料製造実証プラント引き渡しに伴う一括費用計上額を除いた数値  
※2 営業利益+減価償却費+のれん償却額



# 経営指標—セグメント別営業損益推移

ヘルスケアセグメント損益は黒字を維持、エネルギー・環境事業や全社費用は概ね横ばいで推移

(百万円)



# 連結損益計算書サマリー

(百万円)	2017/9期					2018/9期					2019/9期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	一括費用 計上除く	2Q	3Q	合計	一括費用 計上除く
<b>売上高</b>	<b>3,273</b>	<b>3,355</b>	<b>3,603</b>	<b>3,655</b>	<b>13,887</b>	<b>3,450</b>	<b>3,729</b>	<b>3,957</b>	<b>4,038</b>	<b>15,174</b>	<b>3,432</b>	<b>3,432</b>	<b>3,487</b>	<b>3,526</b>	<b>10,445</b>	<b>10,445</b>
直販	2,115	2,366	2,375	2,406	9,262	2,445	2,752	2,881	2,663	10,740	2,549	2,549	2,471	2,497	7,517	7,517
流通	411	406	441	463	1,722	390	400	458	423	1,672	405	405	379	335	1,119	1,119
OEM・原料・海外	733	535	599	601	2,467	553	499	510	717	2,279	358	358	470	555	1,383	1,383
その他	14	48	188	185	435	61	79	108	235	483	120	120	168	139	427	427
売上原価	816	876	948	1,037	3,678	841	946	1,078	1,355	4,220	858	858	1,000	1,018	2,876	2,876
<b>売上総利益</b>	<b>2,457</b>	<b>2,479</b>	<b>2,655</b>	<b>2,618</b>	<b>10,209</b>	<b>2,609</b>	<b>2,784</b>	<b>2,879</b>	<b>2,682</b>	<b>10,954</b>	<b>2,573</b>	<b>2,573</b>	<b>2,487</b>	<b>2,509</b>	<b>7,570</b>	<b>7,570</b>
粗利率	75%	74%	74%	72%	74%	76%	75%	73%	66%	72%	75%	75%	71%	71%	72%	72%
販売管理費	2,178	2,480	2,512	2,088	9,258	3,039	3,465	3,284	2,547	12,334	9,031	2,660	2,553	2,693	14,277	7,907
販売費	1,568	1,855	1,779	1,330	6,532	2,188	2,519	2,122	1,496	8,325	1,620	1,620	1,546	1,681	4,848	4,848
(内 広告宣伝費)	981	1,056	989	634	3,661	1,394	1,516	1,079	624	4,614	674	674	697	784	2,155	2,155
人件費	276	313	354	351	1,294	405	429	477	446	1,757	442	442	421	438	1,301	1,301
管理費	239	206	264	292	1,001	318	362	502	446	1,628	401	401	354	407	1,162	1,162
研究開発費	95	107	114	115	431	129	154	183	159	624	6,568	197	232	166	6,966	596
<b>営業利益</b>	<b>278</b>	<b>-1</b>	<b>143</b>	<b>530</b>	<b>951</b>	<b>-430</b>	<b>-681</b>	<b>-405</b>	<b>136</b>	<b>-1,380</b>	<b>-6,458</b>	<b>-87</b>	<b>-66</b>	<b>-184</b>	<b>-6,708</b>	<b>-337</b>
<b>EBITDA</b>	<b>364</b>	<b>116</b>	<b>267</b>	<b>666</b>	<b>1,413</b>	<b>-288</b>	<b>-516</b>	<b>-182</b>	<b>371</b>	<b>-614</b>	<b>144</b>	<b>144</b>	<b>174</b>	<b>56</b>	<b>-5,996</b>	<b>375</b>
営業外損益	24	145	25	62	256	66	148	42	27	283	36	36	132	181	349	349
(内 助成金収入)	2	118	7	40	167	42	124	27	10	203	18	18	109	167	295	295
<b>経常利益</b>	<b>302</b>	<b>144</b>	<b>169</b>	<b>592</b>	<b>1,207</b>	<b>-364</b>	<b>-533</b>	<b>-363</b>	<b>163</b>	<b>-1,097</b>	<b>-6,422</b>	<b>-51</b>	<b>66</b>	<b>-3</b>	<b>-6,359</b>	<b>12</b>
親会社株主に帰属する当期純利益	209	92	123	361	786	-462	-531	-373	113	-1,252	-6,495	-124	38	-81	-6,538	-167

## ◆参考指標

減価償却費	64.9	89.7	93.3	101.2	349.1	91.3	108.7	125.1	145.1	470.3	140.9	140.9	149.7	145.2	435.8	435.8
(内 M&A関連)	10.7	10.7	10.7	10.7	42.8	10.7	13.4	18.7	18.7	61.5	18.7	18.7	18.7	18.7	56.2	56.2
のれん償却額	21.0	27.4	30.0	34.6	113.0	50.9	56.8	97.6	90.3	295.6	90.3	90.3	90.3	95.1	275.7	275.7

# 連結貸借対照表サマリー

(百万円)	2017/9期	2018/9期	2019/9期 3Q
<b>流動資産</b>	<b>10,640</b>	<b>8,362</b>	<b>11,801</b>
現金及び預金	7,152	4,427	8,345
その他	3,287	3,935	3,457
<b>固定資産</b>	<b>8,217</b>	<b>13,476</b>	<b>8,736</b>
有形固定資産	6,025	8,897	3,840
(内 建設仮勘定)	3,671	4,984	7
無形固定資産	1,626	3,777	3,996
投資その他の資産	565	802	901
(内 投資有価証券)	180	389	556
<b>総資産</b>	<b>18,858</b>	<b>21,838</b>	<b>20,537</b>
<b>負債</b>	<b>3,202</b>	<b>5,933</b>	<b>6,440</b>
流動負債	1,704	2,081	2,414
(内 短期借入金)	164	461	472
固定負債	1,498	3,851	4,026
(内 長期借入金)	1,123	3,389	3,328
<b>純資産</b>	<b>15,655</b>	<b>15,905</b>	<b>14,098</b>
株主資本	15,638	15,898	14,083
(内 資本金)	4,863	5,424	7,318
(内 資本剰余金)	6,686	9,080	11,880
(内 利益剰余金)	2,876	1,625	-4,964
その他	17	7	15
<b>負債純資産合計</b>	<b>18,858</b>	<b>21,838</b>	<b>20,537</b>

# ヘルスケア事業の進捗

# ミドリムシの機能性研究

## ミドリムシ粉末の継続摂取が脳の状態に効果的に寄与することをヒト臨床試験※1により確認



### 研究結果のポイント

#### ① 脳細胞の増加に不可欠なたんぱく質 BDNFが上昇

→BDNFは、アルツハイマー型認知症やうつ病患者では量が減少することが知られている

#### ② 脳における認知機能速度※2および運動 速度※3の測定でスコアの向上を確認

→想定外の危険を回避すること（障害物による転倒など）や、より機敏に身体を動かすことができやすくなる可能性が示された

#### ③ 日常生活での心理的な健康感に 関するスコアの改善を確認

※1 年齢が50歳以上70歳未満の健康上問題のない閉経後の女性62人を対象に、朝昼夕食後の1日3回1gずつ、ユーグレナ粉末もしくはユーグレナの含まれていないプラセボ粉末を24週間継続摂取してもらい、摂取前および摂取開始後24週目までの期間中に、①血液検査、②脳と身体の動き（認知機能）に関するテスト③心理的な健康状態等に関する質疑を実施（第73回日本栄養・食糧学会にて発表）

※2 認知機能速度：脳と身体が情報や物ごとを理解して反応する速さを表し、運動量とともに身体活動量に相関

※3 運動速度：運動速度が低下すると、体の運動機能が低下している可能性がある

# クロスマーケティング施策—地域限定テレビCM放送開始

## ヒト臨床試験結果に関する地域限定CM<sup>※1</sup>を開始、複数バージョンを展開しながら効果測定を実施



代表取締役社長 ver.



研究メンバー ver.



項目	概要
内容	研究者「マルチ機能」篇 (30 秒) <a href="https://youtu.be/7T61daWv8hQ">https://youtu.be/7T61daWv8hQ</a>
	自由研究「脳&健康スコア」篇 (30 秒) <a href="https://youtu.be/-lizBkN11RE">https://youtu.be/-lizBkN11RE</a>
放送地域	広島、岡山、香川、沖縄
放送期間	2019年8月1日(木)～8月14日(水)
	2019年8月22日(木)～8月31日(土)

※1 第73回日本栄養・食糧学会にて発表した、ユーグレナの継続摂取が脳の状態に効果的に寄与すること（脳由来神経栄養因子 BDNF の上昇、認知機能速度・運動速度の向上、心の健康スコアの改善）について分かりやすく解説する内容

# クロスマーケティング施策—AskDoctorsの認定取得

医師100人のうち96%※1がユーグレナ食品シリーズ※2を人に勧めたいと回答、野菜・果実ミックスジュースとしては初の認定



ユーグレナの緑汁



ユーグレナの緑汁  
抹茶仕立て



飲むユーグレナ



飲むユーグレナ乳酸菌

<p><b>AskDoctorsの概要</b></p>	<p>『m3.com※』に登録している医師が、商品に対して客観的に評価を行うサービス ※エムスリー株式会社が運営する、28万人以上の医師会員を有する日本最大級の医療従事者向け専門サイト</p>
<p><b>回答医師のコメント例※3</b></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 手軽で、真に栄養価の高い食品が求められると思う。</li><li>■ 健康の維持に重要な多種の栄養素を高濃度に含有しており、口当たりも爽やかで継続するには最適な健康飲料であると考えられます。また、有毒な可能性のある添加物も含まれていませんね。大変素晴らしい健康補助飲料であると考えます。</li><li>■ 野菜不足の人にお勧めしたいです。栄養価も高く1杯で満足できます。また、カリウムが豊富に含まれていますので、塩分多めの人にも勧めたいです。</li></ul>

※1 AskDoctors調べ ※2 ユーグレナの緑汁、ユーグレナの緑汁 抹茶仕立て、飲むユーグレナ、飲むユーグレナ乳酸菌

※3 医師個人の感想であり、効果・効能を保証するものではありません



# ユーグレナ関連商品のリニューアル

スキンケアブランド『B.C.A.D.』をリニューアル、AskDoctors  
認証取得済みの『飲むユーグレナ』シリーズは9月下旬より発売

クリックで  
公式HPへ

自肌のチカラを、美肌のために。



『B.C.A.D.』をリニューアル

- プレステージスキンケアとして5種をサロンやオンラインショップで7月22日より展開
- 加水分解ユーグレナエキス※1や肌をすこやかに保つ乳酸菌「ラ・フローラEC-12」など配合

※1 微細藻類ユーグレナ（和名：ミドリムシ）から抽出した、保湿成分としての加水分解（酵素分解して成分を抽出した）ユーグレナエキス

## 『飲むミドリムシ』から『飲むユーグレナへ』

- 『飲むユーグレナ』に商品名を統一
- ユーグレナをより体感頂くため、石垣産ユーグレナの配合量を現行品比140%へ増量
- 全国のスーパー、コンビニエンスストアにて9月24日より順次展開予定





# エネルギー・環境事業の進捗

# バイオ燃料実用化に向けた取組—G20サミット関連会合

## 「ユーグレナバイオ燃料※1」を入れた乗用車で**世界初の公道走行を実施**



左から片山さつき内閣府特命担当大臣、出雲充当社代表取締役社長、高島宗一郎福岡市長、井上貴博財務大臣補佐官（6月1日・福岡）



あきもと環境副大臣兼内閣府副大臣（上）  
関経済産業副大臣（下）（6月15日・軽井沢）

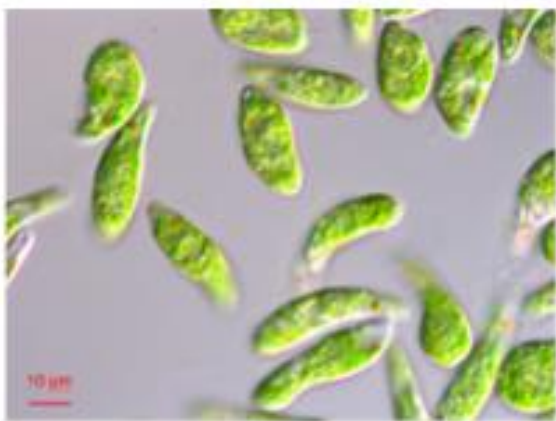


- 当社が供給するバイオ燃料を政府要人の移動車や**会場内シャトルバス**で使用
- 『ユーグレナバイオディーゼル燃料』を**26%混合**
- 日本をバイオ燃料先進国にすることを旨とする『**GREEN OIL JAPAN**』を**出展**

※1 ミドリムシを原料の一部に使用した、現状のディーゼルエンジンに対して100%使用することが可能な次世代バイオディーゼル燃料。既存のディーゼルエンジンに負荷をかけることなく100%使用できることはいずれ自動車による試験で確認済み

# ミドリムシの海外培養実証事業開始に向けた覚書締結

## バイオ燃料用および飼料用ミドリムシ生産の商業化実現に向けて、伊藤忠商事と海外実証事業で連携



### 実証事業の概要

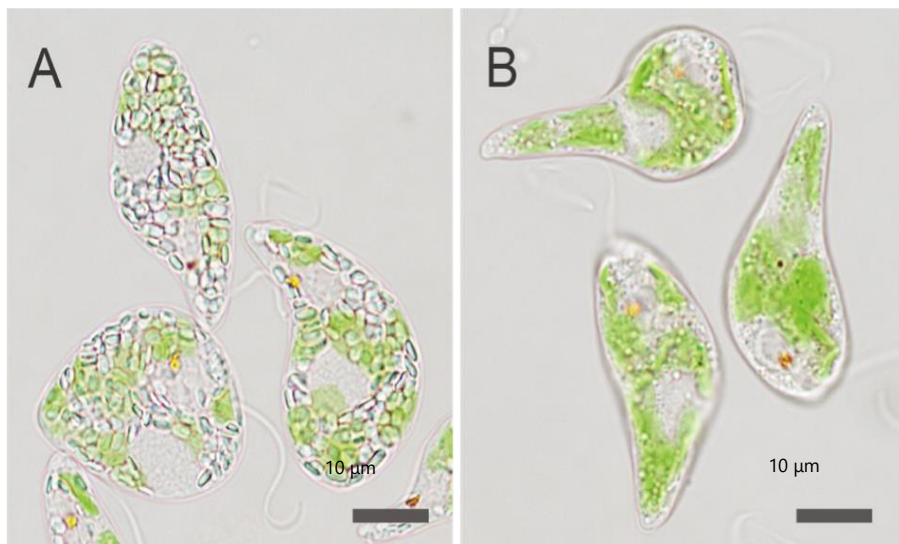
伊藤忠商事の役割	実証事業の候補地リサーチ・交渉・ 資材調達支援・生産物の販売可能性 調査などの海外進出・事業化支援
ユーグレナの役割	ミドリムシ現地株の単離・収集と 育種・培養に関する実証試験
実証事業場所	インドネシア共和国 ※今後、他国でも実証を検討
事業概要	ミドリムシ培養に適した候補地で 火力発電所に隣接した培養設備を 設置し、火力発電所から排出される CO2や排熱を活用し培養
実証事業スケール	実証成果に応じて培養規模を段階的 に拡大させ、バイオ燃料用および飼 料用ミドリムシ生産の商業化に向け たフィージビリティスタディおよび 技術開発・実証を実施

# ミドリムシの研究開発—高効率のゲノム編集に成功

理化学研究所と当社研究チームが共同でミドリムシのゲノム編集手法を確立、他の微細藻類では類を見ない高い効率を実現



理化学研究所



(A) ミドリムシの野生株

(B) ゲノム編集株の一例※1

有用物質生産能を  
向上させた株の分子  
育種や**目的に応じて**  
**デザインした**  
ミドリムシの作出が  
可能

ミドリムシにおける  
遺伝子の機能解析など  
の基礎研究を推進

※1 (B) のミドリムシでは、EgGSL2 遺伝子の機能が失われているため、野生株において従属栄養培養下で生じるパラミロン粒の蓄積がほとんど見られない

# SDGs未来都市・横浜市との連携協定締結

7月、横浜市とともにバイオ燃料の地産地消モデルを構築するプロジェクトに取り組む相互連携協定を締結。廃食油の回収や路線バス、建設機械でバイオ燃料を活用し普及・拡大をめざす

## バイオ燃料地産地消プロジェクト



### ユーグレナ社の役割

1. バイオ燃料の供給
2. バイオ燃料の使用促進
3. バイオ燃料原料として飲食店等から出る廃食油の回収促進
4. 小学生対象バイオ燃料普及啓発

連携

### ヨコハマSDGsデザインセンターの役割

1. 市域でのバイオ燃料利用に向けた企業等への普及啓発
2. プロジェクトのプロモーション支援
3. イベントなどにおけるバイオ燃料利用



環境

CO2の削減

低炭素経済の実現  
ベンチャービジネス支援

経済

次世代への普及啓発

社会



## 小学校にて 廃食油回収ボックスを設置



- 横浜市立獅子ヶ谷小学校に**廃食油回収ボックスを設置**（5月）。児童が家庭から持参した廃食油を回収し、実証プラントのバイオ燃料原料として活用予定
- 環境に関する出前授業も実施（7月）

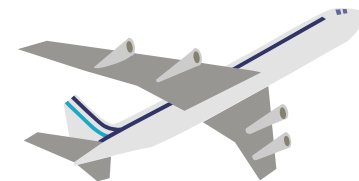
## イベントにて バイオ燃料を発電機に給油



- みなとみらいスマートフェスティバル 2019（8月2日）にて**バイオ燃料を発電機に給油**し運営本部の照明に活用

# バイオディーゼル・ジェット燃料の実用化に向けた進捗

協力企業数と潜在ユーザー数が15社まで増加、  
次世代バイオディーゼル燃料は2019年秋以降に供給開始予定



バイオジェット  
燃料の進捗

有償フライト  
2020年  
実施予定

ASTM認証取得  
見込み2019年秋頃

19/9期1Q

19/9期2Q

19/9期3Q

19/9期4Q

20/9期~

次世代バイオ  
ディーゼル燃料  
供給見込み先  
2社

**ISUZU**

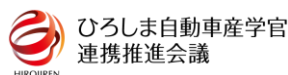
次世代バイオ  
ディーゼル燃料  
供給見込み先  
10社

次世代バイオ  
ディーゼル燃料  
供給見込み先

**15社**

突破

次世代バイオ  
ディーゼル燃料  
2019年秋以降  
供給開始予定



# その他の取組み



## その他の取組

# コーポレートサイトからオンラインサイトへの流入導線を強化、地球温暖化に対する子供たちの本音をまとめたWeb動画も公開



PICK UP



## コーポレートサイトトップをリニューアル

- 視覚的イメージの刷新と、オンラインサイトへのシームレス化により、ユーザビリティが向上

## Web動画「未来の大人たちに聞いてみた。」

- 地球温暖化について小学生にインタビューを実施し、彼ら彼女らからこぼれた本音をまとめた動画を制作
- 日本で観測史上最も暑い日を記録した7月23日（2018年に埼玉県熊谷市で41.1℃を観測）に公開
- 動画URL：[https://youtu.be/ws6mVSGtq\\_Q](https://youtu.be/ws6mVSGtq_Q)



バイオテクノロジーで、  
昨日の不可能を今日可能にする

